ASBJ

第 587 回企業会計基準委員会

資料番号　審議事項(4)-4

日付　2026 年 11 月 2 日

プロジェクト　排出量取引制度に係る会計上の取扱い

項目　第 586 回企業会計基準委員会で聞かれた意見

本資料の目的

1. 本資料は、第 586 回企業会計基準委員会（2026 年 10 月 20 日開催）において聞かれた意見をまとめたものである。

適用時期及び経過措置

2. 制度の導入スケジュールを踏まえており、適用時期に関する事務局提案に賛同する。

3. 経過措置は期中決算も含めるとやや複雑で理解が難しい部分があるため、解説文等の中で補足されると実務に有用であると考える。

4. 3 月決算会社を例とした場合、適用初年度の翌年度の第 1 四半期及び第 2 四半期の比較情報を考慮すると、原則どおり遡及適用とする選択肢も考えられるのではないか。

5. 利用者の立場では、経過措置により期首利益剰余金に加減した影響額の注記や、2027 年 3 月期において排出枠の不足が見込まれる場合における追加情報の開示があることが望ましい。

文案の検討

6. 無償で割り当てられた排出枠を売却した際に仮勘定を用いて会計処理することの説明と、保有口座は減少するものの会計上は減少していないかのごとく取り扱う旨が明確にされており、わかりやすくなったと考える。

以　上